

わたしとあなたの分かち合い

AA日本ニューズレター

No. 1

—— 86年秋季関東ラウンドアップ ——

AA日本ゼネラル・サービス・オフィス内 広報委員会
☎(03)590-5377 ㊟160 東京都豊島区池袋 2-1083 橋ビル 9F

ラウンドアップとは、簡単に言えば既にAAのメンバーだと自認している仲間が、これからそうなるかもしれない新しい仲間を誘い、つれて来る集会である。そうして全国各地から集まってきた多数の、さまざまな段階にあるアルコール中毒たちが、2泊3日寝食を共にするうちに、ミーティングやいろいろのイベント(催し)を通じて、楽しい時間を共有することで、深い人間同士の交流がなされる。これが新しい仲間には回復のよい機会となり、彼を連れて来た既に回復と成長のレールに乗っている仲間には、その歩みを一層力づける結果になるのである。

人間は一人では生きられない。私たちは自分一人で苦しんできたし、どんな小さな楽しみも、一人でこっそり楽しんできたものだ。楽しみは人と分かち合うことで、その楽しみは倍加する、ということをもっと知らなかったのである。

私たちはこの集まりを持つことで、さまざまな回復の経験を持つことで、回復が可能なることを実感し、人の話を聞いて共感することで、初めて自分の病気を認め、回復への意欲を持ちえたのである。私達の新しい人生の出発が始まったのである。

ラウンドアップは、地域の行政機関や専門家の理解と協力うけて、10年ほど前から定期的に各地で開催され、多大の効果を収めてきた。本年も関東地方では春に引き続き、秋のラウンドアップが春と同じ埼玉県越生町の埼玉厚生年金休暇センターで、10月19日(日)20日(月)21日(火)の3日間挙行されるが、同じ会場を選んだことで前回の経験を生かした実行委員会によって、前回は上回る快適な3日間が用意されよう。

プログラム

メインテーマ：わたしとあなたの分かち合い

10月19日(日)		<白梅> } 午前と同じ
15:00~	受付	<芙蓉> }
18:00~19:00	夕食	<黒山> GSRミーティング
19:00~21:00	セレモニー 挨拶(斉藤学・三船英男先生) オープン・スピーカーズ・ミーティング	18:00~19:00 夕食 19:00~20:00 フェローシップ 20:00~21:00 ラッフルタイム・フィーバー
10月20日(月)		10月21日(火)
8:00~9:00		8:00~9:00 朝食
9:00~	<武蔵> モーニング、 セレモニー (各会場で全国AA メンバーとのフェロ・シップ)	9:00~11:00 さようならミーティング 解散 食事は全日程とも<梅園><桜草>の 2室で臨機応変に願います。
9:30~17:00		一緒に遊んでAAの輪(和)を、広げよう (各種催し物)
午前 <武蔵> 北から南から <白梅> パブリックミーティング <芙蓉> NAミーティング <黒山> ビギナーズ・ミーティング <秩父> 娯楽室 ・休憩室は21:30まで 使用可 屋外プログラムは受付で		10月20日(月)
午後 <武蔵>		13:00~16:00 ソフトボール大会 (参加費100円) 10:00~16:00 輪投げ・ビンゴ・カラオケ等<秩父>の間 13:00~16:00 バトミントン・卓球 (体育館使用のため運動靴が必要) なお、希望者はフィード・アスレチックも出来ます。

AAサービスの窓口

各委員会の活動の現状と展望

AAの各委員会は、それぞれの分野で、AAの内外的なサービスを行う窓口になっているが、それぞれが今何をやっているのか、これから何をやるかとしているのか、又そういう活動をやっていく上でどんな問題をかかえているか等々をご紹介します。

勿論ここに掲げたのは、その一端にすぎない。

又、どの委員会の会合でもメンバーなら誰でも出席できる。これを読んであなたが関心を持ったら、実際にそこに出席されて自分の眼と自分の耳で経験されることをお勧めしたい。人間にとって本当に知っていることというのは、そうした自分の経験で、自分なりに得たものしかないのだから。

文書委員会 文書委員会は、毎月一回第2日曜日の午後1時半から池袋のJ,S,Oで定例の集会を持ち各委員の仕事の分担を決めたり、既刊のAAに関する出版物の改訂、新しく公布する出版物やパンフレット等の検討や、刊行に関する種々の取り決めを行っている。

本年度の仕事

「絵でみる12の伝統」 12の伝統は個人の回復を委ねるグループの成長のためのステップであることを、具体的に解説してある。イラストが豊富に入っているのも、誰にも容易に12の伝統が理解出来る。この本を今、委員たちが知恵を出しあって、どんな日本語を使って訳したら正確で解りやすいか、を検討している。何とか今年中に翻訳し終えて刊行の準備に入りたい。

来年度の仕事予定

「信ずるようになった」 原書は、AAの霊的プログラムを宗教と

誤解しがちな初心者のために、5年の準備と企画を練って出版された。自分の信ずる神へのゆるがぬ信仰がテーマ。G.S.Oのすすめに応じて、全世界のAAメンバーから多くのコメントや物語が寄せられている。メンバー達の霊的な旅の多様性とそれを支える一体性が最大の魅力。

「AAと薬物濫用」(パンフレット) アルコールの代わりに鎮静剤、トランクライザー、マリファナその他の薬物だの、覚醒剤、抗鬱剤の使用は非常に危険である。ソプラエティに関わる薬物問題について述べたパンフレット。

「専門家とAA」(パンフレット) アル中毒は誰でもかかる病気だということ、AAに関心のある専門家、医師のアルコール中毒に対する臨床上の関わり方、問題のある酒飲みを救うために、医学とAAがどう協力し合ったらよいか、についてのアプローチ。それについて述べた専門家向けパンフレット。

前年から現在も来年も引続きやっていく仕事予定

「AAが成年に達した」(AAの20年小史) 1957年には、AAメンバーは20万人を越えた。この本の背景にはその3年間1954年に創始以来役立っていた協会が解散し、G.S.Oが設立され、2年前の1955年にセントルイスでAA25周年記念コンベンションが開かれ、更にAAの三つの遺産 回復、統一、奉仕が行動に移された。これらの歴史と記録、更に医学・神学・司法の分野でAAに協力してきた先駆者たちの講演記録、ゼネラルサービス評議会、ラスカー賞受賞までを含む長大な文書がこの本の中に収められている。

なお、「改訂」という言葉について、メンバーからよく質問を受けるが、これは翻訳文の字句の改正、訂正であり、原文の改正は意味していない。

総務委員会

現在日本のAAグループも責任あるサービス活動を行うために、より効果的な体制をとるようになった。(各メンバーは共通の回復から一歩ぬきでた個人的特性の発揮が要求されるようになった) そこに様々な問題意識が始め、各々がいろいろの意見や疑問を持ち始めたので、その受け皿となるのが総務委員会であると考えている。今、早速やろうとしていることは、AAのサービスに関する組織の分担を明文化し、その手引書を作るべく、鋭意検討中である。

グループはこんなに変わってきた

----- 濫立から地区の協力へ -----

地区委員会幹事会

最近の地区委員会幹事集会に出ていると、いつの間にか、AA日本グループの活動も本当に足が地についた、という感じがする。

以下はこの集会にずっと深い関わりを持ち続けて来た一人のメンバーの、これまでの回顧とこれから先への予想を含めた展望を語ってもらったものの要約である。

DCMと称した集会を発展的解消し、昭和59年9月22日インターグループ代表者会議が発足した。その2回目から議題は、グループの地区割りについて進められた。

DCM当時は地区の名称を名乗っていても、そのグループがその地区にミーティング場を一カ所も持っていないという、グループもあつたくらいで、グループ間の横の関わりなどゼロに等しい、という時期もあった。それでも12の伝統に守られながら進んで行ったように思う。

回を重ねるごとに、ゆっくりとだが確実に整備されて行った。

そういう中でモントリオールの50周年記念集会に日本から評議員を送ることが出来た。そして世界のAAの仲間入りをスピーチをもってすることが出来た。

それから最初から地区地域にとらわれないレディスグループという女性だけのグループを解消する方向で話し合いがなされ始める。各地区のグループに定着させ、レディスグループは解消する。

昭和60年12月9日の第16回会議では、その時交替した各インターグループの代表者正副を含めて、次期役員が選出された。同時にラウンドアップ実行委員会が設立される。

次の第17回インターグループ代表者会議よりも、地区割りにもっと適合した名称に変える必要に迫られて、新しい名称が地区委員会幹事集会として可決され、その後は新名称の下に議題も地区割りの進展の経過に重点が置かれるようになってきた。

同時に重複されていたミーティング会場が、地区内にゆっくりしたペースでまとまってくる中で、関東地方グループのラウンドアップ実行委員会の努力がみのって、大規模なフェロ・シップを得ることも出来た。

それらと平行して地区の行政や施設との関係がそれまでのグループ単位から、地区サービス委員会へと移行して、地区内に大きなまとまりが出来はじめた。AAの12の伝統の大切さが身にしみた次第であった。

成長し続けてやまない現状が、信濃町から池袋へとサービスオフィス J.S.O の移転となって現われたのである。

第24回集会から議題も地区割り別から地域の行政・施設と関わりが変わってきて、各地区の報告による分かち合いが始まり、今後直接住んでいる場所から近隣周囲を見る作業に移行する際、さまざまな問題が報告され始める。

というのは、地区の保健所などから「まだ苦しんでいるアルコール中毒者」に、その人が住んでいる土地のAAミーティングに行くことを勧められても、本人はまだ自分をアルコール中毒者だとは認めていないし、高いプライドを頑固に持ち続けているから、そんな処に出たことを近所の人に知られたりしようものなら、もう人前に出られないからというので、決して出ようとはしないから、みすみす回復へのいいチャンスをつぶしてしまう。この傾向は特に女性の場合に多いという。

そこでメンバーたちは、その地区でないAAミーティング会場のグループと十分なつながりを持っていなければならぬ必要がある。そして保健所などへも、そこが嫌なら他にこういう処もありますよ、とまだ苦しんでいるアルコール中毒者に教えてあげられるようにしておかなければならない。そのためにはわれわれは地区委員会幹事集会などを仲立ちにして、他所も知らなければならぬ。地区委員会幹事集会の大切さがこういうところにもある。

近所でない他の土地のAAミーティング場に足を運ぶことによって、プライドの高い、自分をアル中なんかであつては大変と思ひこんでいるその人に、アルコール中毒というものが、誰でも羅する肉体の病気であることがわかるだろうし、そうすれば、その人は救われるのだ。

病院施設委員会

この委員会は去る昭和59年関東サービス常任委員会の発足の中で、伝統5に明示されているグループの主要目的をより効果的に達成させるために編成され、活動を始めた。

前任期中に実施したこと—— メッセージ活動に関わる諸問題について考え合い、グループ間のその面での調整に当たったり、

メッセージを運んでいる病院・施設の一覧表作成、専門家、病院、施設へのアンケート調査を実施し、今後のメッセージの形式や内容について検討したり、専門家の要望や地方からの依頼についても考え合ったりしたが、今後の課題として残したのも少なかった。

昭和61年度以降の活動は—— AAの方法による各人の回復と、伝統を堅持することでの各グループの一致をもつての、各委員会との相互のつながりを強くし、病院・施設、行政、専門家の方々との協力関係を深め、委員の選出に当り各地区各インターから一人選出として、幅広く問題について意見を求め、地区インターを通してより多くのメンバーの参加を呼びかけ、地方からの依頼に応じ、短期間に集中的に行うこととし、専門家の協力を頂いて地方毎にグループの発足を促していき、オープンスピーカーミーティング(コンベンション)を開いて、多くの人に理解を深めていくように努めている。

今後の問題—— 専門家、行政との協力関係、家族、知人等(アラノン)との協力関係をどのように強めていくか、専門家や家族への各メンバーの個人的接触を積極的に呼びかけて行く、グループ、地区、AA全体の一体性を強めて行く、回復の喜びの分かち合いを続けたい。

そして、今後この方法が多くの人々に受け入れられて、アルコール中毒という病気も他のすべての病気と同じ様に早期発見、早期治療がよいに決まっているのだから、その予防に効果を挙げるまでに発展させるべく、一層努めたい、と考えている。アメリカでの発展の歴史の教訓を生かし続けたい、ということである。

ここで当委員会のメンバーが、**メッセージの方法に関連して最近体験から得た具体的な事柄**を一つ紹介しよう。

飲んでいた頃の話の主にするか、退院後の生活に不安を感じている患者さんたちのために、回復の方法とプロセスを主に話すか、という問題について話し合いが行われた中で、まだ自分が中毒者であると認められない人のためには、飲んでいた頃の話が役に立つが、一方最近ではどん底のレベルが上って経済的にも人間関係の上でも破綻をきたしていない人も多いので、そういう人にひどい話をしても、違いを探させることにしかならない、という。

それから過去のメッセージ活動の反省として、どうも日本のAAはこれまで専門家を置き去りにして、全く独断的、独善的に進んで来たような傾向があったのではなからうか。専門家の立場への配慮が欠けていたように思える。これは大いに恥ずべきことである。

今後は双方が協力し合い、力を補い合う方向にもって行くことが大切なので、こんなことでは専門家からも信頼は得られないから、接点を見出すのが容易ではない。専門家からも又まだ苦しんでいる中毒者の家族からも、信頼されるように、私たち自身が成長しなければならぬと思う、というような話もこの委員の人の中から聞かせて貰った。

埼玉地区大宮インター G. 第14回ステップセミナー S61年11月1日(土)9:30 ~ 16:10 埼玉県草加市氷川町568-1 草加市立氷川コミュニティ・センター (食事は各自をお願いします)

テーマ: 飲まないで生きるために (昼食は各自をお願いします)
宮城地区宮城インター G. 第1回ステップセミナー(テーマ: 信じる) S61年11月2日(日)9:00 ~ 16:00 宮城県仙台市本町1-4-39 宮城総合福祉センター ☎224-0491 昼食は各自負担・駐車場はありません)

南多摩地区豊田 G. 第1回オープン・スピーカーズ・ミーティング S61年11月1日(土)9:00 ~ 16:00 日野市多摩平1-10 日野市勤労青年会館(国電中央線豊田駅下車、北口徒歩2分 ☎0425-88-6251)

AA日本ニューズレター発刊に当って AAサービスの窓口である各委員会の活動状況を中心に報道し、全国各地域のメンバーに情報を提供することで、仲間一人ひとりの活動をお手伝いすること。と共に行政や医療を初め関係各位に、AAへのご理解を一層深めて頂きたいと念願し第1号をお送りする。 広報委員会